



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部  
発行者 佐々木 力  
編集者 及川 孝  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2017.6.10  
第1506号

拡大キャッチコピー  
「新しい仲間づくりを 皆の力で」  
「一緒に解消しませんか、 あなたの疑問。 加入ってます」

### 当面の主な日程

- ▽6月17日(盛岡) 第3回地方本部機関紙交流会・盛岡支部側
- ▽6月17日(東京) 東日本本部各地本・地区本部組織部長会議
- ▽6月30日(東京) 本部全国代表者会議
- ▽7月8・9日(盤梯熱海) 東日本本部女性部第27回明るく元気に学習交流会
- ▽7月9日(東京) 東日本本部主務職・助役職等交流会

# 支部・分会代表者会議 課題を共有し組織拡大に奮闘を 分会活動の活性化が闘いの原動力

地方本部は5月20日、盛岡市・国労会館に於いて「第1回支部・分会代表者会議」を開催した。全体で35人が出席し、組織強化・拡大の取り組みと第85回定期全国大会決定事項などについて意見交換を行った。

昨年度に引き続き新規採用者の直接加入は勝ち取れなかったものの、独自のチラシを作成して新入社員へアピールしたとの分会の取り組みが報告されるなど、分会・職場の状況に応じた取り組みが行なわれていた。また、第85回定期全国大会決定事項については本部案に対する意見を求めることとした。

地方本部は9月に「第11回組織拡大対策会議」を予定している。この間の取り組みを振り返る中で課題を共有し、組織拡大に向け共に奮闘しよう。

## 意見交換を継続し取り組み

会議は小林良執行副委員長の開会挨拶で始まり、座長に佐々木執行委員長を選出。佐々木委員長は座長就任の挨拶で、「テロ等準備罪法案での強行採決は安倍政権の本質を露わにしている。次の国政



=会議は35人が参加し進められた=

選挙では与党を減らす取り組みが重要となる。今年度の新採配属は完了しているが、新入社員の動向を含め各職場の状況を共有する中から組織拡大に向けた取り組みの強化を」と訴えた。

## 組織・個人の監視社会反対 『STOP!共謀罪』緊急学習会

=戦争させない・9条壊すな!岩手の会=



「講演を行う佐々木良博弁護士」

5月22日、戦争させない・9条壊すな!岩手の会主催「STOP!共謀罪」緊急学習会が「おでつてホール」で開催された。弁護士で憲法改

悪反対岩手県共同センター代表でもある佐々木良博さんを講師にむかえ、約1時間の講演を受けた。

「戦争に不可欠な条件」として①戦力・軍隊②法律(戦争法)の整備③国民の協力④教育の統制⑤報道の統制⑥司法と警察による統制⑦中絶の統制⑧報道の統制⑨司法と警察による統制を振りかえり、現在の日本はどうかを検証した。

増強され究極の解釈改憲と言えらる集団的自衛権行使容認の閣議決定を受け「安保関連法」が成立しており既に整っている。残るは「国民の協力」である。教育の統制は「教育基本法改正・道徳の教科化」として進められ、報道の統制は強化され日本の報道自由度は先進国最低の72位。司法と警察による統制は、スパイ防止法としての秘密保護法は成立しており、「戦争する国」を完成させるために現代版治安維持法の「共謀罪」を成立させ、内心を問題にし政

府の方針に反する組織や個人を監視し取り締まり、国民を戦争に協力させる武器として利用することが必要になっている。

日本国憲法の理念は、武力行使によらず交渉で平和的に物事を解決する国である。これを内外に示している。監視社会という息苦しい社会を未来に残さないために、戦争という負の遺産を将来に残さないために、「共謀罪」を成立させない運動を広く展開することの必要性を確認し合えた学習会となった。

んで行く③会社の変化を捉えた国労側の対応も必要④分会集会等の適宜開催と情報共有を⑤の書記長答弁を全体で確認した。

分会活動の活性化が支部・地本の運動を底上げしていく原動力であることは明らかであり、そのために何が求められているのかは分会毎に多様である。地方本部は、全分会オルグを通じてつかんだ課題について分会・支部・地本が連携し意見交換を継続して行くこととしている。

また、第85回定期全国大会決定事項については、地方本

組合継続加入の賃金控除依頼の取り組みについては、エルダー社員となる組合員が増える中で「賃金控除依頼書」の再提出失念が見受けられ、組合員資格の継続手続きと合わせて分会からの声掛けを改めて確認した。

定年退職後の選択としてグループ会社やパートナー会社に再就職するという道を選ぶ社員も出てきている。JRのグループ会社やパートナー会社へ再就職する組合員は加入資格を有しているため、分会で国労継続加入を積極的に呼び掛けることも意思統一した。



◇青森国労会館での機関紙交流会◇

地方本部が主催する「第3回機関紙交流会」(青森支部側)が5月27日、国労青森支部で開催され各分会の教宣部長を中心に12人が参加した。第1回支部・分会代表者会議での「分会活動の活性化」という提起を受け、教宣活動と機関紙作成について問題点を共有する中で交流と学習会を行った。

冒頭、阿部一久副委員長が「組織強化・拡大と教宣活動」について⑧定期全国大会決定事項について③関係会社について④国労継続加入の3点に触れ挨拶した。

及川教宣部長が教宣部提起を行った後、事

「機関紙」が定期的に発行できる状況がつけられる。教宣部長や1人の担当者だけでなく執行委員会や班集会で議論しながら紙面づくりを充実させ、機関紙発行に向けて一歩前進した取り組みにしていこうと確認した。

「機関紙」が定期的に発行できる状況がつけられる。教宣部長や1人の担当者だけでなく執行委員会や班集会で議論しながら紙面づくりを充実させ、機関紙発行に向けて一歩前進した取り組みにしていこうと確認した。

## 機関紙の発行に向け 一歩前進し取り組みを ◆地本機関紙交流会・青森◆

前アンケートに基づいて各分会の代表者が報告を行った。執行委員会の開催状況については「第2金曜日に開催する」など定期的な開催に向けて取り組んでいる報告がされた。分会や班のレクレーションの開催状況については、「OBにも声をかけ年間を通じて開催している」という報告がある一方、「業務が忙しく中々開催できていない」との実態も出された。組織強化・拡大の取り組みと教宣活動の強化については、十分認識しているものの中取り組みまで結びついていない状況も報告された。執行委員会の定期開催、レクレーションの充実があり、

### ていこう

「近所の玄関先に「笑門」と書かれたお札のついたしめ縄が1年中飾られていて、尋ねてみるとお伊勢参りをしたときのことだ。本来正月を過ぎると外すものだが伊勢地方では「笑門」のついたしめ縄は「疫病」を避けるために年中飾っておくものだという。大阪国際がんセンターが吉本興業などの協力を得て、笑いでがん患者の免疫細胞が活性化するかどうかの実証研究を始める。笑いが免疫力を上げ感染症やがんの予防によいことは知られているが、1人の人が1日のうちに「楽しい」と感じて声を出して笑ったその笑いに費やす時間は」は男女平均で23秒とのこと。男女比では声に出して笑うのは40%、女性60%。女性のほうがよく笑い免疫力も高く長生きなのはこのため。▼Jリガーの久保嘉人選手は3人の男の子を持つ父親。あるテレビ番組で、現在のFC東京に移籍の際、家族の反対もあったと言ったが、でも彼は決断した。「自分が頑張れば子供たちが笑顔になる。その笑顔を見てまた自分も頑張ろう」という気持ちになれるから」と語っていた。笑顔は家族の幸せをもたらす妙薬か▼受動喫煙防止法案を巡り議論されている中「がん患者は働かなくてもよいのでは」と野次を飛ばした議員。国民の健康と幸福など到底眼中にない発言に怒りを覚えた矢先、「あつたものをなかつたこと」にすることを出来ない」と発言された気骨な前事務次官に拍手を送った。うやむやにせず疑念を晴らし国民ありきの政治を実行して欲しい。実証研究結果は来年度中に公表される予定。がん医療の進歩が得られる結果に期待したい(智)

いいね！日本国憲法5・13岩手県集会

# 憲法の理念を活かし平和な社会を 1億総監視社会の「共謀罪」NO

「いいね！日本国憲法5・13岩手県集会」(戦争をさせない岩手県センター・LUCY-I)



「憲法を守ろう」と訴える  
又市征治 社民党全国連合幹事長

「いいね！日本国憲法5・13岩手県集会」(戦争をさせない岩手県センター・LUCY-I)が5月13日、盛岡市の岩手県公会堂で開催された。

記念講演に社会民主党の又市征治全国連合幹事長を迎え、「いいね！日本国憲法施行70年に思うこと」と題し、80分間にわたり講演を受けた。

集会には、「共謀罪」や憲法改悪反対などを訴える岩手県民・労組団体ら約300人が参加した。(国労からは一関・北上・盛岡の各地区より15人が参加)

冒頭の主催者挨拶で、社会民主党の小西和子岩手県連合代表が「安倍総理は、GHQに押しつけられた憲法」とうそぶいているが憲法は日本人が原案を作ったもの。今やるべきことは憲法の理念を活か

し、平和で人間らしい生活が出来る社会に変えること」と訴えた。

又市幹事長は、「5月3日、憲法制定70年の記念の日に安倍総理は改憲派の集会で、2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」とビデオメッセージを送った。憲法9条1項・2項を残しながら自衛隊を明文化しようとしている。戦後レジーム(体制)からの脱却とは憲法を変えること。衆参で3分の2以上改憲派がいる状況で、今やならなければいつやるのか」と強い気持ちで打ち出している」と述べた。今国会で強行採決を

目論む「共謀罪」については、「皆さんの携帯電話やメール、写真なども通信傍受に当たる。つまり1億総監視社会に突き進むとんでもない悪法だ」と切り捨てた。講演の最後に、「総選挙で改憲勢力の3分の2を割らせること。野党共闘できる政策をしっかりと合意させ、安倍1強対野党連合の対決を明確化させる政策を打ち出すことが大事」と今後に向け抱負を述べた。

参加者の決意表明では、青年協議会、女性協議会、高齢者懇談会の各代表がそれぞれ立場で闘う決意を述べた。集会は、平和環境岩手県センターの野中靖志議長が憲法改悪阻止を訴える団結ガムパローを三唱し閉会した。



「青森県庁前での緊急集会参加者」

5月17日・18日

## 「共謀罪」は言論封じ

青森県内でも緊急集会

青森県内に於いて、「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織犯罪処罰法改正案の採決に反対する緊急集会が5月17日及び18日に開催されました。

17日は、青森駅前公園に於いて、青森県九条の会が主催し、各市民団体や青森県平和労組会議、青森県労連、社民党、共産党からリレートークで日本の刑事法体系を根本から変え、計画準備段階から罪に問うという警察権力が一般市民を日常的に監視し、市民社会が委縮すると報告がありました。共謀罪を廃案にするアピールを採択し、参加した160人で「共謀罪は言論封じ」とシユプレヒコールを挙げ市内中心部に向けデモ行進が行われました。

18日の「憲法を守る青森県民の会」が主催した「共謀罪」採決反対緊急集会は、県庁前で60人が参加しました。金沢代表から「日本を監視社会にしないためにも、最後まで諦めないで頑張ろう」と挨拶があり、社民党県連の三上代表からは「戦前の治安維持法に並ぶ危険な共謀罪法案を何としても阻止しなければならぬ」と力強い呼びかけがありました。また、青森県平和推進労働組合会議の江良議長からは、「この共謀罪を廃案にするために労働組合と市民団体が共闘して安倍自公政権に対峙していかなければならない」と訴えがありました。

### ヒバクシャ国際署名岩手の会

## 原爆・戦争の悲惨さを皆で 次世代に語り継承していこう キックオフ集会

「こぞなくそう！核兵器in岩手」



「いまこぞなくそう！核兵器in岩手」(ヒバクシャ国際署名岩手の会)キックオフ集会(ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会主催)が5月14

日、盛岡市のサンビル7階大会ホールで開催され約250人が参加した。(国労からは5人が参加)

ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダーの林田光弘さんを迎え、「核兵器禁止条約の実現を！世界署名の力」と題して講演をいただいた。林田さんは長崎県出身で25才、中3から「高校生1万人署名活動」の実行委員会や「高校生平和大使」の活動を経て現在はヒバクシヤ国際署名リーダーとして奮闘。自らも被爆3世であり明治学院大1年でありながら核兵器廃絶に

向活動中である。林田さんは、「若者やママさん達に興味を持たせることが一番大事。そこから、気づき、始めて危険だと感じてくれる」と受け取る側の気持ちが大切と語った。林田さんを中心としたリレートークセッションが行われ、岩教組の仲間が「原爆の悲惨な状況を子供たちに話すと、皆真剣に聞いてくれた。学年発表会で演劇をやるので原爆や戦争について子供たちと一緒に考え学習したい」と抱負を語った。最後に次世代への継承について、「皆さんにしか出来ないことが必ずあるはず。今やるべきことを実践していこう」と力強く訴えた。

### 生活・法律相談窓口のご案内

相 談 日：2017年 7月13日(木) / 9月13日(水) / 11月9日(木)  
2018年 1月11日(木) / 3月8日(木) / 5月10日(木)

相 談 時 間：すべての相談日とも13時から15時まで

相 談 受 付 電 話：019-622-5021 国鉄労働組合盛岡地方本部

相 談 場 所：盛岡市内丸6-15 EST21ビル もりおか法律事務所

弁 護 士：佐々木 良博

※ 相談者氏名、相談内容等については、外部には一切公表致しません。〈秘密厳守〉

一般財団法人 国鉄労働会館 盛岡地方部

生活・法律相談 専門の弁護士が直接相談に応じます。

労働問題からサラ金問題、財産相続問題など、何にでもご相談ください。

無料相談